

# 言葉の力を高める読書活動の推進に向けて

富山県 南砺市立井口小学校

## 基本データ

所在地 南砺市蛇喰 1001 番地  
 児童生徒数 50 人  
 教職員数 14 人  
 蔵書数 約 7,700 冊  
 年間貸出冊数 約 3,900 冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 進んで読書する習慣を養い、情操豊かな子供を育てる。

## 取組・活動の概要

### (1) 読書習慣の形成につながる取組

- ①朝読書の時間「読書タイム」の実施(H13 から)
  - 年間目標冊数（1 学年：120 冊、2 学年：80 冊、中学年：65 冊、高学年：40 冊）を定め、週 2 回、朝 10 分間の読書活動を行うことで、落ち着いた気持ちで読書することが習慣化している。
- ②読み聞かせボランティア「つばきの会」との連携 (H22 から)
  - 月 1 回、1～3 年生を対象として、季節や話題になっている事柄、地域に関する題材等、子供たちの関心に合わせて読み聞かせをしていただいております。読書への意欲付けにつながっている。
- ③児童会図書委員会による図書室の利用への働きかけ
  - 「目標をこせ！井口小」を企画し、各学期の学年目標冊数を決め、達成した人を図書室前に掲示し紹介するとともに、昼食時のふれあいタイムで、「おすすめの本紹介」として全校に発表する場を設けている。
  - 子供自身が本の魅力を伝えるため、本の楽しさやよさが伝わり、同じシリーズの本を借りる子供が実際に増えている。
  - 「次は自分が本を紹介したい」と意欲的に読書に取り組む子供もいる。



達成者のおすすめの本が並ぶ図書室前掲示



おすすめの本紹介

### ④活字に慣れ親しむ「漢字読み検定」の実施 (H28 から)

- 図書や新聞を読むことへの抵抗をなくすために、全校児童が挑戦する学年の問題を自分で選択し、「漢字読み検定」に取り組んでいる。
- 1 年生が 2 年生の問題に、4 年生が中学・高校レベルの問題に取り組むなど、自分より上の学年の問題への挑戦が知的好奇心を高め、子供たちは意欲的に取り組んでいる。



漢字読み検定

## (2) 子供が通いたくなる学校図書館づくり

### ①楽しくて居心地のよい環境構成

- 学校図書館司書助手が中心となり、おすすめの本や人気シリーズ本コーナー等を設けたり、子供たちが本を手にとりやすいように展示方法を工夫したりしている。
- 季節に合った飾り付けも子供たちが図書室へ通う楽しみとなっている。



子供たちで賑わう図書室

### ②南砺市立井波図書館や井口中学校図書館との連携

- 子供たちの読みたい本を取り寄せ、いろいろなジャンルの本を手にとることができるように環境を整えている。



毎月届けられる井波図書館の本

### ③特設図書コーナーの設置

- 校長室前には、校長自ら選んだ本が並び、子供たちだけでなく教職員にも読書の楽しさを伝えている。
- 時には、校長室が読書スペースとなり、子供たちが自由に入出しし、校長と共に読書に取り組む様子もみられる。
- 高学年の子供たちと読書談議を実施するなど、読書の楽しさを日頃から話題にすることで、学校図書館の利用頻度も高まってきている。



校長室前の特設コーナー

## 取組・活動の工夫や特徴

- 学校図書館司書助手との連携を図った利用しやすい図書室づくり
- 各学年の発達の段階に応じた図書室の利用指導、読書指導
- 主体的な委員会活動の展開

## 取組・活動の成果や今後の展望

- 児童一人当たりの年間貸出冊数は、H29の83冊からH30は90冊へと増加している。
- 全国学力・学習状況調査の児童質問紙において、「読書が好きである」と答えた児童の割合は、100%（H30）である。
- 今後は、児童が様々なジャンルの本に関心を持ち、読書を通して身に付けたよりよい表現を取り入れるなど、言葉の力を更に高めるとともに、豊かな心を育てていきたいと考える。